

**平成28年度  
第5回市民と議会の意見交換会  
実施結果  
(各会場分)**

H28. 7. 29～7. 30

喜多方市議会

平成28年10月4日

## 目 次

開 催 状 況	1 頁
班及び役割分担	2 頁
岩月交遊館会場	3 頁
関柴公民館会場	6 頁
慶徳ふれあい館会場	10 頁
高郷公民館会場	12 頁
塩川ふるさと会館会場	16 頁
山都開発センター会場	21 頁
熱塩加納会館会場	27 頁
喜多方市役所ホール棟会場	32 頁

## 開催状況

日 時	会 場	対 象 地 区	参加者数 (人)		
			男	女	計
7月29日 (金) 午後6時30分	岩月交遊館	第三中学校区	5	1	6
	関柴公民館	第三中学校区	3	0	3
	慶徳ふれあい館	第一中学校区	3	0	3
	高郷公民館	高郷中学校区	15	0	15
7月30日 (土) 午後2時	塩川ふるさと会館	塩川中学校区	8	8	16
	山都開発センター	山都中学校区	2	0	2
	熱塩加納会館	会北中学校区	6	1	7
7月30日 (土) 午後6時30分	喜多方市役所ホール棟	第一・二・三中学校区	12	1	13
合 計			54	11	65

## 班及び役割分担

会 場	岩 月 交 遊 館	関 柴 公 民 館	慶 徳 ふ れ あ い 館	高 郷 公 民 館
	喜 多 方 市 役 所 ホール 棟	塩 川 ふ る さ と 会 館	山 都 関 発 センター	熱 塩 加 納 会 館
司会者（班 長）	渡 部 信 夫	江 花 圭 司	長 澤 勝 幸	佐 原 正 秀
報告者（総務委員会）	坂 内 鉄 次	遠 藤 金 美	齋 藤 勘 一 郎	渡 部 一 樹
〃（文厚委員会）	関 本 美 樹 子	佐 藤 忠 孝	五 十 嵐 吉 也	後 藤 誠 司
〃（産建委員会）	小 林 時 夫	田 中 雅 人	小 島 雄 一	矢 吹 哲 哉
〃（定数等特別委）	佐 藤 一 栄	山 口 和 男	大 川 原 謙 一	齋 藤 仁 一
〃（市の将来像）	渡 部 信 夫	江 花 圭 司	渡 部 勇 一	渡 部 一 樹
答 弁 者	渡 部 信 夫	遠 藤 金 美	齋 藤 勘 一 郎	渡 部 一 樹
	坂 内 鉄 次	佐 藤 忠 孝	五 十 嵐 吉 也	後 藤 誠 司
	関 本 美 樹 子	田 中 雅 人	小 島 雄 一	矢 吹 哲 哉
	小 林 時 夫	山 口 和 男	大 川 原 謙 一	齋 藤 仁 一
	佐 藤 一 栄	江 花 圭 司	渡 部 勇 一	渡 部 一 樹
	渡 部 孝 雄	渡 部 孝 雄		
記 録 者	田 中 和 加 子	遠 藤 吉 正	菊 地 と も 子	上 野 利 一 郎

## 岩月交遊館 会場

### 総務常任委員会の報告 【公共施設マネジメントについて】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
	なし。		

### 文教厚生常任委員会の報告 【待機児童解消に向けた現状と今後の対応について】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	待機児童解消の取り組みを伺う。また、なぜ保育士が不足しているのか。市の雇用管理に問題はないか。	各施設の定員と預ける側の希望のミスマッチも要因となっている。第1、第4保育所廃止の見直しを求めている。保育士不足については労働対価が低い。また、これまで待遇改善を行い、臨時職員3年雇止めも緩和したが、労働条件の改善途上にある。	【会場での回答で完了】

### 産業建設常任委員会の報告 【子育て世帯向け定住促進住宅の整備について】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	子育て世帯の住宅を作っても、待機児童発生など、受け入れ体制の問題があり、政策に一貫性がないのではないか。	子育て世帯のニーズ調査を行い、建設計画を作成することとしている。	【会場での回答で完了】

### 議員定数等に関する検討特別委員会の報告 【議員定数等に関する検討結果について】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	議員定数を減らすと、少数意見や弱者の声が届きにくくなるのが心配される。報酬引き上げには反対しない、生活の安定無くしては十分な働きができない。	他市の例、人口動態や財政規模等から検討し、22名が妥当とした。報酬については、若い子育て世代からも意欲をもって議員になれる待遇が望ましいとの考えもある。	【会場での回答で完了】
2	若い人が議員になる必要性を感じない。一定の社会経験があつてこそ、議員の仕事	以前は、3期務めれば議員年金もあつたが現在は無い。議員の専門性が求められる	【会場での回答で完了】

	<p>ができるというものと思う。</p>	<p>いることから、ある程度の生活の保証がなければ、若い方々が議員になって、まちを良くしようとする意欲は出てこないと考える。</p>	
--	----------------------	--	--

### 喜多方市の将来像についての自由討論

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	<p>人口減少を緩和する対策として、都会の裕福な老人を呼び込んではどうか。空き家バンクを作成し、マッチングを行えば需要があると思う。地区にある空き家に入居移住する場合など、地域の方々と馴染めるよう行政施策も必要と思うがどうか。</p>	<p>高齢者を呼び込めば、それを支える人材増も図る必要があるが、現状でも介護関連人材は不足している。また、納税力が低くなり、社会保障費が増大する世代の増加は、自治体財政をひっ迫させるとの指摘もあり、国の指導事例も聞き及んでいるので詳細を調査する。</p>	<p>【産業建設常任委員会】            建築住宅課に確認したところ、「空き家の所有者の方々へ情報提供の依頼を行うなど、積極的な情報収集を図り、多くの情報を登録することにより、空き家の利活用を推進していく。」との回答でした。</p> <p>また、農山村振興課に確認したところ、「地域の方々と馴染めるよう行政施策については、移住希望者に対し、集落の現状や共同活動等の情報を農山村振興課が窓口となり、丁寧に説明している。また、本市では、移住・定住を希望する住民の抱える不安や悩みを解消し、地域住民と定住希望者との橋渡し役を果たすため「喜多方市定住コンシェルジュ制度」を設けており、移住者又は地域住民との相談については、定住コンシェルジュの活用を基本に集落の現状などの情報提供について、集落支援員とも連携しながら、地域の受け入れ体制や移住者の悩みの解消を図り、住みよい環境を整えていきたい。」との回答でした。今後の推移を見守ります。</p>
2	<p>高齢者の呼び込みでは市の活性化は図れないと考える。子育て世代の支援、雇用の場、買い物できる環境などを充実させないと、他所に行ってしまう。</p>	<p>若い方々で介護関連職は敬遠されがちだと聞く。少子化問題は女性の職場が少ないことも起因していると考ええる。</p>	<p>【会場での回答で完了】</p>
3	<p>喜多方の企業誘致のアピール点ほどのようなもので、それを活かしているのか。</p>	<p>自然災害が少なく、水環境が良いなどの利点や物流アクセツも向上してきている。それら優位な条件をアピールしながら、市</p>	<p>【会場での回答で完了】</p>

		では取り組んできており、今後もさらに努力を求めていく。	
4	福島市に農業系学部が創設するとのことだが、小学校農業科で全国的に有名な本市が、なぜ誘致に向けて動かなかったのか。積極性がなければ衰退の一途ではないのか。	意見として伺う。	【会場での回答で完了】

#### その他の質問・意見・要望等

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	治里活性化センター(旧入田付小)の管理費が減額された。地区で持ちきれなくなっているし、利用形態についても地区だけでなく市全体で、グリーン・ツーリズムで利用するなどの複合施設として工夫してほしい。	住民自治における有効利用など、廃校の活用方法について全国の先進事例を研究し、課題解決を目指していく。	【会場での回答で完了】
2	合併10年が過ぎたが、5年で格差、不公平を解消するとしていたのではないか。いまだに解決されていない課題がたくさんある。市当局、議員双方の怠慢でないか。	意見として伺う。	【会場での回答で完了】
3	ふるさと納税について、湯川村のように力をいれてはどうか。	議会からも、ふるさと納税の拡大に向けて種々提言をしてきており、御礼品の充実化などがなされ、かなり実績として伸びてきている。	【会場での回答で完了】
4	観光のまちというが、駐車場が少ない。市役所前の民間駐車場をなぜ取得しなかったのか。	しだれ桜開花のピーク時期の混雑を想定し、旧喜多方商業高校グラウンドを簡易駐車場に整備した。市役所駐車場の観光客利用については制限できないのが現状で、一部の飲食業への課題提起も考えなければならない。	【会場での回答で完了】

## 関柴公民館 会場

### 総務常任委員会の報告 【公共施設マネジメントについて】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	公共マネジメントの取り組みの観点から、熊倉児童館跡地を有効活用するためにも、早めに公民館の駐車場として整備することを要望する。	要望として伺う。	【会場での回答で完了】

### 文教厚生常任委員会の報告 【待機児童解消に向けた現状と今後の対応について】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	熊倉幼稚園が来年閉鎖され、関柴にある第四こども園に通園することになるが、通園バスはあるのか。	通園バスは予定されている。しかし現段階で公表して良いのか所管課に確認し回答する。	【文教厚生常任委員会】 こども課に確認したところ、「第四こども園の通園バスはすでに運行しており、岩月方面からと熊倉方面からについて児童がいれば乗せてくるということで運行している。そのことについて公表して良いのかについては、すでに運行しているので公表して良いということになる。」との回答でした。
2	第四こども園の募集定員が80名と説明があったが、この定員の根拠を伺う。	根拠については、所管課に確認し回答する。	【文教厚生常任委員会】 こども課に確認したところ、「第四こども園の募集定員は80名で、年齢別に申し上げますと、3歳が20名、4歳が30名、5歳が30名である。この根拠については県の条例上の1クラスの上限人数はいずれも30名となっており、保育士の配置基準があって4歳児・5歳児については30名に概ね1名という基準があるため、4歳児・5歳児は30名としているところであり、3歳児については20名に概ね1名という基準になっているので3歳児は20名としているところである。」との回答でした。

### 産業建設常任委員会の報告 【子育て世帯向け定住促進住宅の整備について】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	子育て世帯向け定住促進住宅の整備の他に、移住・定住促進のための具体的な政策は	当市への移住・定住を考えている市外居住者を対象に、田舎暮らし支援事業のひと	【会場での回答で完了】

	あるのか。	<p>つとして、喜多方市移住体験住宅の利用者を募集している。また、市外からの若者の移住と市内の若者の定着を促進し、本市人口の転入転出バランスを改善することを目的として、市内に定住する目的で土地・住宅を取得する若者に対し、その取得に要する費用の一部を補助している。</p> <p>このほか、田舎暮らしや移住に関する相談役としての「定住コンシェルジュ」が田舎暮らしをサポート。新規就農応援。喜多方市雇用相談センターでの就業相談。定住希望者への空き家・不動産、売却・賃貸可能な物件情報を提供。喜多方の田舎暮らし農業体験。農業を始めたい、田舎暮らしをしたい方の長期滞在もサポートしている。</p>	
--	-------	--	--

議員定数等に関する検討特別委員会の報告 【議員定数等に関する検討結果について】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
	なし。		

喜多方市の将来像についての自由討論

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	移住・定住を促進するためには、働く場が必要であり工業団地等造成などの施策も必要ではないか。	働く場の確保については議会でも議論を重ねているが、新工業団地造成については、すでに豊川町綾金地区に約10haの土地を取得している。今年度予算で、再測量・地質調査を実施する。この場所には多くの土砂が必要だが、建設事務所の協力を得て無償で搬入が始まっている。また所管課には企業からの問い合わせもあるようだ。	【会場での回答で完了】

2	<p>定住促進住宅を利用するためには、移住する子育て世代が働く場所、たとえば集団で大規模農場等を設けるなどの施策が必要ではないか。</p>	<p>現状では大規模農場ではなく、各地域にあった営農集団等への支援を行っている。例えば、人・農地プランなどであり、この制度は使い勝手も良い。このような国の制度活用の支援を求めていく。また、市単独で葉物野菜などへの転換のための支援も行っている。</p>	<p>【会場での回答で完了】</p>
3	<p>農作物を作ったら販売することが重要で、このルート開拓などの工夫はしているのか。私は、個人的にルートを持って販売している。</p>	<p>本市にとって、農業は基幹産業として位置づけしいろいろな施策に取り組んでいる。今後はJA会津よつばなどとの連携を促進し、ルートの開拓を求めていく。もし今後ルート開拓に良い案があれば、積極的に提案していただければありがたい。</p>	<p>【会場での回答で完了】</p>
4	<p>静岡県三島市では、人が集まる取り組みをいろいろ実施している。一方、県内ではバンガロー村などで活気があった地域が今では閑散としている。本市がこのようにならないように市民からアイデアを募集する必要があるのではないか。特に、一定の収入を得るためには働く必要があり、地域振興はこの働く場確保のためにも必要ではないか。</p>	<p>本市では各地域で民間が中心となりまちづくり等に取り組んでいる。働く場の確保等については対応を求めていく。</p>	<p>【会場での回答で完了】</p>
5	<p>本市で農業・観光が基幹産業と考えるならば大学の学部誘致をしてはどうか。また、本市だけでなく会津大学への学部新設などは考えられないか。</p>	<p>本市では、過去に大学誘致活動を行った経緯があるが実現できなかった。また、現在、福島大学へ農学部が新設される予定であり、各地域で誘致活動を行っているが、状況では福島市になるようだ。なお、本市では多くの大学と連携しながらまちづくりを行っている。また、塩川町には県立テクノアカデミー会津があり、観光に特化した学科もある。</p>	<p>【会場での回答で完了】</p>

その他の質問・意見・要望等

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	各行政区からの要望として、春に一行政区・一要望を行っているが、要望しても一回のみの回答で終わり、その後のフォローがないのは何故か。	多くの行政区からの要望で、緊急性・重要性からの観点から、順位を付けて取り組んでいるが、なお、ご意見として市側へ伝える。	<p><b>【総務常任委員会】</b></p> <p>総務課に伝えたところ、「一行政区・一要望については各課の責任のもと緊急性・重要性を考慮して対応しており、市として翌年度以降に対応することとした案件については、各課において継続事項として取り組んでいる。回答後のフォローとして、秋の行政懇談会などで、進捗状況・中間報告的なもので対応できないか検討していく。」との回答でした。</p> <p>議会としては、緊急性・重要性を基に優先順位をつけて取り組んでいることと理解しておりますが、なお、当初の回答から進捗状況に変化が生じたような場合には、逐次各行政区への報告をお願いするものであることを加えて申し伝えました。</p> <p>それについて総務課からは「早急に伝えるべき情報が出てきた時には逐次情報提供することは必要であるとの考えをもって、総務課としても調整にあたって参りたい。」との回答でした。議会においても、各行政区からのご要望が多岐にわたることから、全庁的な情報共有と課題認識の徹底について市側へ求めて参ります。</p>
2	議会との意見交換会に出席したが、参加者が少ないので驚いている。知らない区長もいたのでPR不足ではないか。	昨年もPRしたが、区長などの場合は出欠を確認するなどの工夫も必要かもしれない。ご意見として伺い、今後、議会としても参加者を増やすためにどうしたら良いのか検討していく。	<p><b>【会場での回答で完了】</b></p>
3	空き家対策について、現在市では空き家を壊す場合50万円を上限に補助を行なっている。しかし危険な崩壊状況において、空き家の持ち主が本市にいない場合対応ができない。親戚の方をお願いしても負担が大きいためそのままとなっている。通学の子どもたちにも危険なことから、この取り壊す	空き家対策については、大きな社会問題でもある。産業建設常任委員会では、最近、市内の他地域の状況調査を行った。要望については市へ伝える。	<p><b>【産業建設常任委員会】</b></p> <p>建築住宅課に確認したところ、「限られた予算の中で少しでも多くの方に補助金が活用され、老朽危険空き家が削減されることを目的としているため、現在の補助金の額の見直しについては考えていない。」との回答でした。委員会としては通学路上での危険な空き家等への補助については、今後設置される空き家対策協議会において検討していただくよう要請しました。今</p>

補助額を例えば150万円に増額できないか。	後の推移を見守ります。
-----------------------	-------------

## 慶徳ふれあい館 会場

### 総務常任委員会の報告 【公共施設マネジメントについて】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
	なし。		

### 文教厚生常任委員会の報告 【待機児童解消に向けた現状と今後の対応について】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
	なし。		

### 産業建設常任委員会の報告 【子育て世帯向け定住促進住宅の整備について】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
	なし。		

### 議員定数等に関する検討特別委員会の報告 【議員定数等に関する検討結果について】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	議員が4名減となると活動も広範囲になり大変になる。活動しやすくすることが大事であり、政務活動費を引き上げるべきと考える。	現状、政務活動費は、会派報の発行や会派の行政視察に充当されている。また、法制度も変わり人件費にも充当でき、会派で調査・研究するための雇用が可能になった。より充実したものにするためにも、他市の政務活動費を調査し、参考にすべきと考える。	【会場での回答で完了】

## 喜多方市の将来像についての自由討論

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	農業は本市の基幹産業であり安定経営が重要である。福島の米を自衛隊に食べてもらうなど、国の仕組み作りはできないか。	福島米の消費拡大に良いアイデアと考える。制度的にどうなのか持ち帰り市への対応を求めたい。	<b>【産業建設常任委員会】</b> 農業振興課に確認したところ、「自衛隊では競争入札を実施しておりかなり難しい。本市では、本市産農畜産物の風評被害払拭とともに販路の拡大のため、トップセールスを実施しており、特に米については、大阪、京都での取引再開と沖縄での新たな販路開拓に結びついたことにより大きな効果があったものと捉えている。今後もJA等関係機関との連携を強めながらトップセールスを推進することと合わせ、首都圏での物販やパートナーショップ等との連携により本市産農畜産物のPRを実施することで販路拡大に取り組んでいく。」との回答でした。今後の推移を見守ります。
2	人口減少を防ぐための定住化に、若い女性対象の専門学校、看護・介護学校など資格を取得できる施設が必要と考えるがどうか。	医療・介護福祉・保育分野の人材育成確保に向けて、県立高校跡地など未利用地を活用した人材育成拠点の整備を進める調査費が予算化されている。	<b>【会場での回答で完了】</b>
3	定住するには仕事がないと定住に繋がらない。	今後、綾金運動公園予定地を工業用地に整備し、企業誘致を進めることになる。さらに、農林業にも力を入れ、米の販路拡大、森林整備も進められている。	<b>【会場での回答で完了】</b>

## その他の質問・意見・要望等

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	「市民と議員の意見交換会」に市民参加が少ない。参加人数を増やせないのか。	今までも、いろいろ対応はしてきた。各関係者、団体等にはすでに周知してある。今後も検討をして行きたい。	<b>【会場での回答で完了】</b>
2	地元在住の若者は消防団に入らなければならないが、入団すれば新たな団員者が少ないので、なかなか抜けれられない。それが理	実態については受け止める。前にも見直しの問題が審議された。今後、文教厚生常任委員会や今進められている政策研究会など	<b>【文教厚生常任委員会】</b> 生活防災課に確認したところ、「消防団の定員は1,436名に対して実際に活動している消防団は1,364名であり、後継者もい

	由で地元から離れている事例がある。環境づくりを考えてほしい。	で実態調査研究をして提言することも可能である。持ち帰り検討する。	ないというようなことで長く消防団に在籍している方もいるということは承知している。そのような中で以前に比べて使用する消防資機材も変わり、性能も良くなっているという状況であり、消防団員の数だけではなく、配備している資機材等の見直しも必要かと考えているので、併せて検討していきたい。」との回答でした。今後の推移を見守ります。
3	高齢化などで、長床のしめ縄作りの伝承が厳しい現状である。伝統を守り継承する環境づくりが必要と思うがどうか。	しめ縄の課題だけではなく、少子高齢化の中、市全体で伝統を継承する環境づくりが必要と考える。市としての対応を求めたい。	【文教厚生常任委員会】 文化課に確認したところ、「しめ縄づくりの文化財への指定という観点からお答えするが、これについては調査が必要となるが、また全国的にも例がなく指定になるには大変難しいということが考えられる。また、後継者育成のことも含まれているとすれば、市としてどのような対応をしていけるのかということを含めて相談をしていきたいと考えている。」との回答でした。

## 高郷公民館 会場

### 総務常任委員会の報告 【公共施設マネジメントについて】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	集会施設を現状の維持管理していくために、人口減少している地区の負担が大きくなり、市の負担率を上げてもらいたい。	制度改正を行い、世帯数が少ない行政区においても、負担緩和となるよう見直しを行ったところである。	【会場での回答で完了】
2	荻野の教員住宅、郷土資料館、運動公園等の公共施設の屋根修繕等について、住民から苦情が寄せられる。大胆なスクラップ事業も視野に入れて、住民が安心できるようにしてほしい。	昨年も同様の要望があった。今年度は郷土資料館、雷神山の管理棟、高郷小の屋根吹き替えが予定されている。 残りの施設については、今後申し入れていく。	【文教厚生常任委員会】 教育総務課に確認したところ、「教員住宅については、現在3名の先生が入居している現状で、また屋根についてはかなり錆びているということは以前から把握しているところであり、経費もかなりかかると思うので、中期財政計画に盛り込みながら対応していきたいと考えている。」との回答でした。今後の推移

			<p>を見守ります。</p> <p>文化課に確認したところ、「高郷郷土資料館については、現在、屋根の吹き替え工事を実施中であり、9月末までに完了する予定である。」との回答でした。</p> <p>生涯学習課に確認したところ、「高郷運動公園には建物が2棟あり、特に錆がひどい建物は旧管理棟の屋根であり、中期財政計画に盛り込みながら対応していきたいと考えている。」との回答でした。今後の推移を見守ります。</p> <p>中央公民館に確認したところ、「平成27年度から中央公民館が14の公民館を統括しているが、このことにより毎年各公民館から施設の修繕等の聞き取りを行い、それをもとに向こう5年間の修繕箇所をまとめているところである。そのまとめたものを中期財政計画に盛り込んで計画的な修繕を行っているところであり、今後も引き続き計画のもとに修繕を行っていく。」との回答でした。今後の推移を見守ります。</p>
3	<p>発電所の近くにも民俗資料室があり、荒廃して蛇の住処になっている。不審火の件もあり、対処してほしい。</p>	<p>年次計画の中に組み入れできるよう今後求めていく。</p>	<p><b>【文教厚生常任委員会】</b></p> <p>文化課に確認をしたところ、「この施設は塩坪地区にある高郷民族資料室のことだと思うが、老朽化が進んでおり、今後展示されている民具等が適切に保管されるよう様々な角度から検討をしてまいりたい。また、市にある民俗資料館全体についても今後検討していきたいと考えている。」との回答でした。今後の推移を見守ります。</p>

**文教厚生常任委員会の報告 【待機児童解消に向けた現状と今後の対応について】**

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
	なし。		

**産業建設常任委員会の報告 【子育て世帯向け定住促進住宅の整備について】**

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	子育て世帯向け定住促進住宅が建設され	市当局に伝えていく。	<b>【産業建設常任委員会】</b>

	<p>れば、若い世代も住んでくれると思われるが、ぜひ高郷地区にもその建設の配慮をお願いしたい。</p>		<p>建築住宅課に確認したところ、「住宅の整備については、市内全域を対象としたニーズ調査を行い地区の方々の意向を把握することとしている。具体的な検討については、現在、ニーズ調査の準備を進めているところであり、調査結果などを踏まえ、整備計画を策定することとしている。」との回答でした。今後の推移を見守ります。</p>
--	---	--	---

**議員定数等に関する検討特別委員会の報告 【議員定数等に関する検討結果について】**

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
	なし。		

**喜多方市の将来像についての自由討論**

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
	なし。		

**その他の質問・意見・要望等**

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	<p>新しい福島県のかたちとして、県庁を県中央部の郡山市に移転し、中央的な場所から様々なことを発信すべきと考える。速やかに郡山市への移転運動をすべきと思うがいかがか。</p>	<p>郡山市等でも過去に何度かこの件に関して意見が挙がっていたが、現状では難しいと思う。</p>	<p>【会場での回答で完了】</p>
2	<p>75歳を過ぎようとしている今、自動車運転免許も返納すべきと思うが、会津若松方面への2次医療機関への通院を考慮すると、バスでの通院ができない地区からは、JRを利用しようとしても列車時刻がまばらで、通院が困難と思われる。何らかの対策ができないか。</p>	<p>意見を市当局に伝えていく。</p>	<p>【文教厚生常任委員会】 生活防災課に確認したところ、「JRへの要望については、福島県鉄道活性化対策協議会が組織されており、そこで毎年各市町村からの要望事項を取りまとめ、要望活動を続けているところであり、平成27年度の要望の中には山都駅等の適切な管理のほか、医療センターを利用する方の利便性を向上させるということから最寄駅となっている堂島駅に停車する列車を増やしてといった趣旨の要望が含まれている状況になっている。今年度</p>

			もこれから要望事項を取りまとめる段階であるので、市からも堂島駅に停車する列車の増便について要望事項に含めて県に要望していきたい。」との回答でした。今後の推移を見守ります。
3	企業誘致の進捗と雇用の状況について伺いたい。	震災後の雇用は減っているが、市長は綾金地区に約10haの工業団地を造成する予定である。大企業はないが、中小企業は少し誘致できている状況である。	【会場での回答で完了】
4	喜多方市独自の企業誘致の優遇措置があるのか。	具体的な数字は、本日資料として持ち合わせていないが、優遇措置はある。	【会場での回答で完了】
5	少しでも企業誘致ができれば、最終的には定住につながるのではないかと。	市当局においても、トップセールス等で誘致活動を積極的に行なっている。	【会場での回答で完了】
6	雇用の関係での最低賃金との問題と絡め、振興公社の地元採用を拡大し臨時職員の賃金も見直してほしい。	第三セクター会社の賃金については、議会では議論できない。公社の賃金は低いと思う。	【会場での回答で完了】
7	地元の企業の賃金を上げるために現状で市当局ができることを、まずやってほしい。	市が関わる公共工事について、以前最低制限価格がなかったため安い金額で落札されてきたが、現在では90%を超える落札率であり、十分企業には安定した金額で工事が発注・受注されていると思う。	【会場での回答で完了】
8	農業問題について、地方の山村地域では条件が悪く、個人所有の農地であるため行政が介入することは難しいと思うが、空いている農地に関しては行政中心で指導してほしい(館岩村ではそばを栽培する公社に委託しているようである)。	そばに関しては補助事業がある。 館岩の例などを参考にしながら検討を求める。	【産業建設常任委員会】 農業振興課に確認したところ、「農業従事者の高齢化と後継者不足がますます進行する中で、特に担い手不足が顕著な山村地域では、地域の特性に応じた担い手の育成・確保とそれら担い手への農地の集積は喫緊の課題と認識している。市としては、地域の特性を活かした農業振興を図るため、人・農地プランの話し合いを通じた担い手の確保や集落営農の組織化、農作業受託組織の体制強化などの支援をしているところであり、引き続き関係機関・団体と連携して推進していく。」との回答でした。今後の推移を見守ります。
9	寺の前に屯所があるが、この土地は無償で借りているが、借用期間についての限度	市民部で消防関係の管理を行っているので確認する。	【文教厚生常任委員会】 生活防災課に確認したところ、「塩坪地区にある龍蔵寺である

	はあるのか。		と思われるが、この土地は小型動力ポンプ積載車車庫及び屯所用地として利用されており、平成 21 年 10 月に不動産賃貸契約を締結し借用している。借用期間は小型動力ポンプ積載車車庫及び屯所として設置している期間と明記しているので、現在のような車庫と屯所として使用している間は借用できるという契約になっている。」との回答でした。
10	押切川公園体育館の花壇は雑草が繁茂していて、景観が悪い。	花壇の管理状況については、雑草が繁茂している状況であったことを市当局に伝える。	【産業建設常任委員会】 建設課に確認したところ、「業務委託により年 3 回の除草を行っているということであり、押切川公園体育館については指定管理ということで、ふるさと振興株式会社に管理をお願いしていることもあるので、協力できる部分についてはふるさと振興株式会社と協議しながら管理していきたいと考えている。」との回答でした。今後の推移を見守ります。

## 塩川ふるさと会館 会場

### 総務常任委員会の報告 【公共施設マネジメントについて】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
	なし。		

### 文教厚生常任委員会の報告 【待機児童解消に向けた現状と今後の対応について】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	子どもを居住区の保育園に預けることができなかつたり、兄妹が別々の保育園に預けるしかないとのことだが、地元優先にはできないのか。	市としても申し込み時に基準を設けて審査をしているが、議会としても基準については強く申し入れをして行く。	【文教厚生常任委員会】 こども課に確認したところ、「保育所に関しては、もともと学区という概念がなかったということで、入所選考のための優先順位表というものがあって、それに基づいて優先度の高い方から入所させていくというやり方をしているが、優先順位表には地元だから優先させるということや通勤途中の場所だから優先させるといった考え方はなく、保護者の方は申し込みをする際

			に地元だからとか通勤途中だからとかといったことで第一希望の施設を選んでいると思うので、多くの方は地元の施設を希望するわけである。ただ継続児童が優先ということがあるので、新規で他の保育所に入れる児童については、0歳児以外はごく少数になっていることが現状であり、兄弟についても新規で申し込みをすると同時に同じ施設に入所するという事は難しい現状となっている。そういった中で何とか地元の保育所に入所できる方法はないかということで、来年度に向けて優先順位表の見直しを検討したいと考えている。」との回答でした。今後の推移を見守ります。
2	待機児童の問題は、臨時職員やパートの保育士の確保がなければ解消にならないのではないか。	保育士の確保については雇用条件等待遇改善について市へ提言しているが、今後も引き続き行う。なお、8月から支所を含め相談窓口として「子ども・子育て総合相談窓口」が設置される。	【会場での回答で完了】

産業建設常任委員会の報告 【子育て世帯向け定住促進住宅の整備について】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	定住促進のための住宅が整備されるが、それ以外の施策は。また、予算がなくなったら打ち切りか。	<p>当市への移住・定住を考えている市外居住者を対象に、田舎暮らし支援事業のひとつとして、喜多方市移住体験住宅の利用者を募集している。</p> <p>また、市外からの若者の移住と市内の若者の定着を促進し、本市人口の転入転出バランスを改善することを目的として、市内に定住する目的で土地・住宅を取得する若者に対し、その取得に要する費用の一部を補助している。定住促進の事業においては、継続の必要がある場合は、議会としても予算要求をしていく。</p>	【会場での回答で完了】

2	<p>定住促進住宅整備についてのアンケートのエリアはどこか。市内だけなのか。市内だけならば市外からの希望者のニーズはどのように把握するのか。</p>	<p>今回のアンケートについては、市内の対象となるような年代の家庭へ1,500通を予定している。市外からのニーズの必要性については所管課へ伝える。</p>	<p><b>【産業建設常任委員会】</b>          建築住宅課に確認したところ、「調査については、市内の18歳未満の子がいる世帯を対象に1,500世帯へのアンケートを行う予定としており、市内の方々を対象としたアンケートでも十分なニーズの傾向は把握できると考えている。」との回答でした。委員会としては、市外からのニーズ調査も必要ではないかと提言いたしました。今後の推移を見守ります。</p>
3	<p>定住促進住宅の建設場所はきまっているのか。姥堂地区にも保育所があるが、地元の子どもが入れない。また、他地域の子どもが卒園すると当然姥堂小学校ではなく、居住地区の小学校に入学する。姥堂地区の少子化についても配慮し建設場所を決めて欲しい。</p>	<p>建設場所はまだ決まっていない。アンケート調査をもとに決定する。保育園の課題については所管課へ伝える。</p>	<p><b>【文教厚生常任委員会】</b>          こども課に確認したところ、「子育て世帯向け定住促進住宅に関しては、建築住宅課が担当となっているため、地元の保育所に入れないという部分についてお答えするが、地元の児童が地元の幼稚園に入所できないという現状は認識しているので、入所選考のための優先順位表の見直しを検討したいと考えている。」との回答でした。今後の推移を見守ります。</p>
4	<p>定住促進住宅に関するアンケートをとるということだが、住宅を整備して人を増やすだけの視点なのか。          例えばこの喜多方でしかできない教育とか、もっと人を増やす施策について工夫し、住みたいまちに定住促進住宅を建てるなど、インフラや場所ありきで調査するアンケート内容にはすべきではない。</p>	<p>アンケート内容についてはご意見の部分も含め精査が必要と考えるので、担当所管課に内容を確認する。</p>	<p><b>【産業建設常任委員会】</b>          建築住宅課に確認したところ、「住宅の整備については、今後、市内全域を対象としたニーズ調査を行い地区の方々の意向を把握する。その調査の結果などを踏まえ、整備の場所や戸数についての計画を策定する。また、定住促進に関しては、総合戦略において多方面から全庁を挙げて組んでいることから、アンケートの内容についてもそれを踏まえた内容にする。」との回答でした。今後の推移を見守ります。</p>
5	<p>定住促進住宅へ入居後、入居条件の年齢などが超えればすぐ退去しなければならないのか。</p>	<p>そのようなことはないと思う。所管課へ確認する。</p>	<p><b>【産業建設常任委員会】</b>          建築住宅課に確認したところ、「子育て世帯向け定住促進住宅は、入居要件を付した定期借家となるものと考えており、このため入居要件を満たさなくなった時は、契約継続を行わないことになるので契約期限までに退去していただくことになる。」との回答でした。委員会としては一定の期間をおいて対応してい</p>

			ただよう要請しました。今後の推移を見守ります。
--	--	--	-------------------------

議員定数等に関する検討特別委員会の報告 【議員定数等に関する検討結果について】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	次回の選挙から22名の定員になるのか。また、その後の本市の状況が変われば定員の見直しはあるのか。	次回の一般選挙から22名となる。また、その後の本市の情勢変化による見直しについては、回答は困難である。	【会場での回答で完了】
2	今回の定数22名は現在の人口を考慮して決まったのか。	人口だけでなく、有識者の意見や市民意見交換会、また多面的に委員会の中で議論して決定した。	【会場での回答で完了】

喜多方市の将来像についての自由討論

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
	なし。		

その他の質問・意見・要望等

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	街灯の設置について下窪地区等でも要望したが、御殿場公園や県立テクノアカデミー会津周辺は暗く、子どもたちにとって大変危険な場所だと思う。また、過去には塩川中学校の陸橋周辺に不審者がでたりしたので、監視カメラなどの設置はできないのか。	行政懇談会では一地区一要望となっているのでなかなか地域の詳細な要望まで聞けない。今回のような意見交換会でいろいろ要望をだしていただきたいと思うが、まずは、実態がどのようになっているのかデータも含め把握し要望してほしい。なお、所管課へ確認する。	【文教厚生常任委員会】 生活防災課に確認したところ、「防犯カメラの設置については、不特定多数の方が映り込むということから苦情が寄せられたり、場合によっては裁判となる例があると聞いている。このため市が防犯カメラを設置する場合は、市の施設管理と防犯を組み合わせただ中で市の施設を利用して設置しているような現状であり、要望の御殿場公園周辺には、施設内のトイレを管理する目的で1基設置している。」との回答でした。
2	江添地区で子どもの安全確保のため、押しボタン式信号機の設置について要望したいが、PTAや防犯協会など地域ぐるみで要望書を出すべきか。	そのようをお願いしたい。	【会場での回答で完了】

3	花しょうぶ音頭保存会だが、最盛期には90名いた会員も、現在会員数の減少や高齢化により運営が厳しくなっている。今後、保存・継承するために地元の中学校との連携はできないか。	保存・継承する方法として提案があった中学校の連携については教育委員会へ確認するが、その他塩川町にある県立テクノアカデミー会津との連携も考えられるのではないかと。所管課へ確認する。	【文教厚生常任委員会】 学校教育課に確認したところ、「花しょうぶ音頭の保存・継承に関しての中学校との連携であるが、学校において地区・郷土の文化や歴史を学ぶということは郷土愛を育むことができるし、地区への理解を深め、誇りを持つようになるので、大変有意義な学習だと考えているが、具現のために塩川中学校に新たな学習内容として組み入れることは難しいと考えている。地域をねらいとした行事または講演会の中に文化の紹介として一コマを入れる程度の連携は図られると考えている。」との回答でした。
4	各地区で人口減少等により文化団体・地区のまつりの維持・継承が厳しくなっている。地域が一体となって取り組んでいかなければならないのは当然だが、この現状について知っていただきたい。	地区だけでは解決できないと思う。また、他の地域も同じような状況なので、住民自治について、議会としても研究を重ね提言していく。	【会場での回答で完了】
5	塩川総合支所ができるかと職員の人数は減るのか。	現在、職員適正化計画で検討されているので、将来は見直しがあるかもしれない。	【会場での回答で完了】
6	クマが出ることから、年度当初、駒形地区の中学生の保護者に軽トラックで生徒の自転車を運んでもらえるようお願いし、実際に運んでもらっている。 駒形公民館へ駐輪場が設置されれば、自宅まで自転車を軽トラックで運ぶことはなくなり、手配しなくても済む。駐輪場はいつできるか。	公民館敷地内の設置要望があり、二年前から検討し依頼してきた。施工完成はいつになるかは、確認する。	【文教厚生常任委員会】 中央公民館に確認したところ、「現在、駒形公民館には駐輪場がなく、公民館の建物の南西の出入り口のところに並べて置いていただいているのが現状であり、自転車で公民館に来られる方に不便をかけているところである。そのため平成29年度に10台程度の駐輪が可能な駐輪場を設置する計画である。」との回答でした。今後の推移を見守ります。
7	塩川駅東西を結ぶ連絡道路が必要ではないか。	すでに、地元へのアンケート調査をもとに現在東西の連絡通路整備を計画している。アンケート結果や区長会との懇談会及び工事の難易度を考慮し人と自転車が通れる連絡通路を設置する。現在JR等関係機	【産業建設常任委員会】 建設課に確認したところ、「塩川駅の東西通路については、人と自転車が通れる連絡通路を設置することで、平成27年度に基本計画調査を実施し、支障物件確認や比較検討案作成を行った。進捗状況について、今年度は、予備設計を実施し、測量などの

		関と協議をしている。なお、完成は平成 31 年度を予定しているが、進捗状況について確認する。	現地調査と、J R 東日本や J R 貨物との協議資料作成を行うこととしている。」との回答でした。今後の推移を見守ります。
8	昨年の常総市での鬼怒川氾濫などについて考えると、阿賀川下流の整備や自主防災組織・防災団体が必要だと考える。	他地域ではすでに自主防災組織に取り組んでいるが、この日橋川周辺では未だ、未結成なので地域で取り組んで欲しい。また、現在、日橋川・阿賀川・宮川に影響がある長井地区の河川整備を図っている。これが完成すれば、日橋川等の氾濫については防災対策が図られる。	【会場での回答で完了】

## 山都開発センター 会場

### 総務常任委員会の報告 【公共施設マネジネントについて】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
	なし。		

### 文教厚生常任委員会の報告 【待機児童解消に向けた現状と今後の対応について】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	3歳くらいまで子供は親が育てるのが一番いいと思うが、今は、それでは生活できない。仕事を続けるためには保育所に預けるしかない。待機児童解消に向けた事業を検討してもらいたい。	市は、0歳から預けるこども園の受け入れを拡大、公立保育施設での臨時・パート保育士の募集をしている。認可保育施設へは、保育士の確保を依頼している。また、文教厚生常任委員会では、市に対して児童入所希望が集中している施設の規模拡大や保育士増員の働きかけ、待機児童解消に向けて取り組んでいる先進地への行政視察を実施	【会場での回答で完了】

		し、待機児童ゼロに向けた提言をして行く。	
2	<p>保育士不足に対して、確保する施策が重要である。公共施設や個人の住宅を借りて施設運営も雇用対策になるし、待機児童解消への対策にもなる。市の考え・対応はどうか。</p>	<p>制度上、臨時保育士は3年の雇止めになり、市も、保育士不足の中で応募者が少ない問題が発生し、臨時保育士の雇用延長で対応をしている。</p> <p>また、子ども子育て支援策として「保育ママ」など、空き家を利用しながら3、4人を保育する事が制度上可能であるが、課題も多い。市としての保育士養成は難しいが、学費などの資金援助、喜多方に戻った場合に返還義務がない制度など、今後も提言したい。</p>	<p>【文教厚生常任委員会】</p> <p>こども課に確認したところ、「市においては臨時保育士の雇用延長や今年度からは嘱託保育士ということで5名を採用したり、働きやすい環境づくりに努めている状況であり、今年度も退職者の補充として4名の保育士を募集することとしているが、保育士不足の現状の中で、他の認可保育所から市の職員として応募があるという話も聞こえてきているので、周りの認可保育所との関係で市だけが先行して保育士の働きやすい環境づくりを行っていくことは難しい現状にあると考える。公共施設や個人住宅を借りて運営はできないかなどといった話も出ているが、公共施設であれば児童福祉施設への改修が必要となるため簡単にはいかない。個人の住宅では面積基準もあるし、調理室を設けたり、調理員を配置したりといった条件もあるので難しいというのが現状である。保育士を確保するための策としては、認可保育所に対しては私立の保育施設がこれまで以上に児童の受け入れ拡大を図るために新たに保育士を確保した場合などについて、今のところの案であるが、そういった場合の支援なども今後検討していく必要がある。」との回答でした。今後の推移を見守ります。</p>
3	<p>保育士は、体力的・精神的な負担が大変な職業であり、官民間問わず給料や待遇面で保障していく必要がある。安心して子どもを預けることが、子どもを生き育てる意欲にも繋がる。</p>	<p>無認可の民間の保育園で職員の給料を上げようとする、保育料の値上げにつながりかねない。市の職員募集は臨時・パートなども多く待遇面で課題がある。制度上の問題もあるが対応を求めていく。</p>	<p>【文教厚生常任委員会】</p> <p>こども課に確認したところ、「保育士は体力的にも精神的にも負担が大きい職業であり、現在国でも賃金アップについて検討しているということを確認している。保育士の給料を上げる方法とすれば、国で定めている公定価格を上げることで給料アップにつなげていこうというふうに考えているが、そういったことで公定価格が上がったとしても事業所として給料を上げられるかどうかを決めていくことになるので、運営費に吸い込まれてしまうという懸念もあるが、現在国で公定価格の見直し等の検討をしている状況であるので、その動向を見極めていきたい。」との回答でした。今後の推移を見守ります。</p>

4	<p>少子化対策は大改革レベルで行わないと効果がない。公立の保育士は正職員とし、保育料の無料化など、財源の問題もあるが大胆な対応が必要である。</p>	<p>市に少子化対策への対応を求めていく。</p>	<p><b>【文教厚生常任委員会】</b>          こども課に確認したところ、「これまでは年収約 360 万円未満の世帯について、保育所等において第 1 子が同じ施設にいる場合、第 2 子目は半額、第 3 子目は無料といった取り扱いをしていたが、今年度からは第 1 子の年齢に関わらず、第 2 子目は半額、第 3 子目は無料といった取り扱いとしたところである。また、年収約 360 万円未満の世帯でひとり親であると第 1 子目から半額、第 2 子目は無料ということで保育料の負担軽減が図られている。」との回答でした。今後の推移を見守ります。</p>
---	---	---------------------------	---

**産業建設常任委員会の報告 【子育て世帯向け定住促進住宅の整備について】**

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
	なし。		

**議員定数等に関する検討特別委員会の報告 【議員定数等に関する検討結果について】**

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	<p>今後とも市民の付託に応えるべく努力をする。</p>	<p>議員定数は 22 名が妥当・報酬引き上げもいいと思うが、4 年間の議員活動を総括し、自己採点・成果が出れば報酬も上げていいと思う。</p>	<p><b>【会場での回答で完了】</b></p>

**喜多方市の将来像についての自由討論**

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	<p>市の人口減少を踏まえての工業団地整備・企業誘致も大切であるが、一方で、農業を再生させ活性化していくことも重要である。荒廃した農地活用に対する補助制度も対策の一つである。</p>	<p>農業人口は多く、平均年齢は 67 歳と全国平均より高く、リタイヤすると耕作放棄地が増える。担い手育成が必要だが、土地利用型の米とそばは一番厳しく、施設園芸を農協と連携しながら強化しているところである。なお、制度上の問題もあるので市へ確認する。</p>	<p><b>【産業建設常任委員会】</b>          農業振興課に確認したところ、「荒廃農地の解消に係る支援について、農業委員会が毎年実施する「荒廃農地の発生・解消に関する調査」において、耕作放棄地に該当するとされた農地を解消する場合は、国の「耕作放棄地再生利用緊急対策交付金」を活用することができる。当該交付金を活用すれば、10a 当たり</p>

			<p>50,000円の除草等の再生作業に係る支援や、10a当たり25,000円の作物導入に係る資材調達経費等の支援を受けることができ、平成27年度は約4haの耕作放棄地が解消されている。」との回答でした。</p> <p>また、農山村振興課に確認したところ、「農地活用に対する補助制度の一つとして、活動組織を設立し、多面的機能支払交付金の農地維持活動において、農地等の草刈りや害虫駆除等を適正に行い、農用地を耕作可能な状態に保全管理する制度である。既遊休農地については、協定期間内に遊休農地を解消する制度を活用し、遊休農地や荒廃農地を解消していただけるよう制度のPRを行っていきたい。」との回答でした。今後の推移を見守ります。</p>
2	<p>市では農業特区を進めてきた経過がある。農家だけではなく建設会社など民間の力が必要である。施策の角度を変えながら積極的に取り組んでもらいたい。</p>	<p>山都蓬莱地区では、借地を地主に返還した人が多く、放っておくと荒地になる。市で取り組んできたアグリ特区は現在なく、一部事業者が継続しているだけだ。持ち帰り市に対策を求める。</p>	<p><b>【産業建設常任委員会】</b></p> <p>農業振興課に確認したところ、「本市が早くから取り組んできた喜多方市アグリ特区（構造改革特別区域）は、農業生産法人以外の法人の農業参入を認めることにより、高齢化や担い手不足が深刻な農業に対し、農業以外から新たな担い手を確保することにより、担い手不足による農地の遊休化防止などを図る目的で設置されたものである。現在では、農地法の改正により特区でなくても農業生産法人以外の法人が農業参入することができるようになっており、さらに平成28年4月1日からの改正により、参入する法人役員の農作業従事要件なども緩和され、ますます農業参入への門戸が開かれている状況であることから、本市としても担い手の育成や農地集積に関する各種施策の活用を図りながら、農業への新規参入者の増加を目指していく。（※農業生産法人は法改正により農地所有適格法人に名称が変更さ</p>

			れた)」との回答でした。今後の推移を見守ります。
3	耕作放棄は市全体の問題。行政として農業を柱にした活力ある拠点を増やせるような施策を実施してもらいたい。	ただ生産するだけでなく、農産物のブランド化あるいは6次化できるように取り組んで行く必要があるので、市に対策を求める。	【産業建設常任委員会】 農業振興課に確認したところ、「耕作放棄地については、本市においても喫緊の課題であると考えている。市の対応については、多面的機能支払や中山間地域等直接支払の取組により、農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図るため、それを支える地域活動、農業生産活動等地域ぐるみの活動を通し未然に耕作放棄地を防止しており、国の耕作放棄地再生緊急対策事業の取組により、再生作業や土づくり等を実施する農業等へ経費を支援することで耕作放棄地の再生を図っている。また、農業委員会においては、本年4月に農地法が改正され、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進に関する業務が必須事務に位置付けられ、耕作放棄地解消へ向けた体制強化が図られている。」との回答でした。今後の推移を見守ります。
4	今後、米の販路を探しながら生産しなくてはならない。土地が荒廃する前に取り組むのが行政の手腕。	減反政策はあと2年で終わるが、今まで市としては減反を産地間で調整してきたが、今後どうするかが大きな問題。解決策の一つとして市はシンガポールに「天のつぶ」を輸出できないか検討している。	【会場での回答で完了】
5	最近、虐待や殺人事件が多い。会津魂というものを大切に、会津としての考えを子供教育で実現してもらいたい。	会津若松市は会津魂に則った教育をしている。喜多方市でも人づくりの指針を作り、進めている。	【会場での回答で完了】
6	喜多方市が合併して10年になった。小さい町は疲弊し活性化を諦めてしまう。それぞれの地域が活性化する手法はないか。 私の地域も60軒から40軒となり空き家も増え、子どもがほとんどいない。	市に対策を求める。	【総務常任委員会】 企画調整課に確認したところ、「地域活性化については、少子高齢化を背景に地域のつながりの希薄化について認識しているところであり、今後、新しい総合計画策定の中でも積極的に対策を打ち出し、様々な取組の充実を図って参りたい。」との回答

			でした。議会としても、地域活性化に必要な手法、施策を模索研究して参ります。
7	<p>少子化対策として、仲人制度も大切だ。市から報奨金があれば高齢者の活躍の場にもなる。制度化していくことも検討してみてもどうか。</p>	<p>県にも同様の制度がある。市も本年度から世話やき人制度を予算化し、8月頃から募集が始まるが、基本的にはボランティアで、組織化と運営経費になるが、市に対応を求めている。</p>	<p>【文教厚生常任委員会】</p> <p>こども課に確認したところ、「少子化対策の一つとして新たに世話やき人制度を設けて募集をしているところであるが、県ではすでに世話やき人に関しては様々な施策を行っており、制度説明会や研修会等も行っており、市の世話やき人と併せて県の世話やき人にも登録をしていただければ、県で開催する研修会や情報交換会などにも参加して、スキルアップを図ることができると考えているので、そういったことも案内したいと考えている。市からの報奨金については一生懸命に活動されているにも関わらず、周りからはお金目当てに活動しているといった誤解が生じることが懸念されるため、世話やき人会といった団体を構成していただいて、その団体に対する運営補助といったことを検討していきたいと考えている。」との回答でした。今後の推移を見守ります。</p>
8	<p>ふるさと納税制度については湯川村が3億5000万円、喜多方市は3700万円である。全国的にも多くの成功事例があり、市は、知名度は高くアイデア次第で納税額が上がり、それらを財源として多くの事業ができて、しかも記念品は市内の物品が消費されることになると思うがどうか。</p>	<p>ふるさと納税は今後の税収として重要である。喜多方市はふるさと産品の種類も多いが、魅力ある記念品のラインナップとなるよう、市への積極的な対応を求めている。</p>	<p>【総務常任委員会】</p> <p>企画調整課に確認したところ、「ふるさと納税は貴重な財源を確保するという事だけでなく、本市の魅力を発信して地域経済の波及効果が期待されるため積極的に取り組んで来ており、今後も積極的に推進していきたい。現在の記念品の品目は120品目であり、本市の特色的な部分は一通りそろえているが、納税者からの希望の状況も踏まえながら充実していくよう考える。」との回答でした。議会としても積極的な対応を求めています。</p>

その他の質問・意見・要望等

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	<p>今回の参議院選挙で、公示になって2日目、選挙公報が届いていない地域へ出向いての期日前投票が実施されたが、どうなのか。</p>	<p>投票所が統合された地域で実施された。市に実態と対応を求める。</p>	<p>【総務常任委員会】</p> <p>選挙管理委員会に確認したところ、「選挙公報が届いていない地域での期日前投票の実施については、今後検討が必要であり、総合支所での期日前投票所開設の人員体制も含めて開設時期に</p>

			ついて検討して参りたい。」との回答でした。議会としても今後の推移を見守ります。
2	投票を20時までにする効果はあるのか。18時から20時の間に投票する人はあまりいない。21時から開票になり関係者の帰宅は深夜になる。改善できないか。	選挙管理委員会に制度を確認し、対応を求める。	【総務常任委員会】 選挙管理委員会に確認したところ、「18時から20時の投票率は全体の約5.79%、投票者数では1,035人であった。今回は公職選挙法の原則に沿って行われたが、以前、本市においても投票終了時間を繰り上げた事もあり、今回も他自治体において繰り上げたところもあった。ご意見として承り、今後の随時の選挙の都度、判断し決定していきたい。」との回答でした。今後の推移を見守ります。
3	少子化対策として、喜多方で暮らし家族を持ち子供を生むためには、市内で働く場所があることで、いかに職業を創設していくかが重要である。企業誘致は続けていかなければならないと思う。	景気が安定してきたこともあり、市内数社から工業用地が求められるなど、今年度から綾金運動公園予定地を工業用地として整備がはじまる。	【会場での回答で完了】
4	若い人たちが住宅を建設するうえで、利子の補助など、何らかの形で応援できないのか。	利子の補助の制度については確認する。なお、市内外から市内に新築する場合、具体的な補助制度が今年度から開始される。市外者へは上限300万円（総額の5分の1以内）、市内者へは上限140万円の助成がある。県にも補助制度があるので、窓口に相談してほしい。	【総務常任委員会】 企画調整課に確認したところ、「利子の補助制度はない。」との回答でした。

## 熱塩加納会館 会場

### 総務常任委員会の報告 【公共施設マネジメントについて】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	公共施設に関しては、防災拠点としても考えなければいけないと思うがいかがか。	公共施設の管理の中に、防災拠点としていれていく方針である。	【会場での回答で完了】

2	市役所のデザインに違和感がある。	建設・デザインにあたってはプロポーザル方式で行った。議会の中でも議論してきた。デザインについては桐下駄を重ね合わせたものを半分に切ったデザインになっている。	【会場での回答で完了】
---	------------------	--	-------------

文教厚生常任委員会の報告 【待機児童解消に向けた現状と今後の対応について】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	待機児童が喜多方市でも発生していると思わなかった。なぜ市街地で発生しているのか。	待機児童の定義にもよるが、保護者の預けたい施設とのマッチングの結果、待機児童が発生している。	【会場での回答で完了】

産業建設常任委員会の報告 【子育て世帯向け定住促進住宅の整備について】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
	なし。		

議員定数等に関する検討特別委員会の報告 【議員定数等に関する検討結果について】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
	なし。		

喜多方市の将来像についての自由討論

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
	なし。		

その他の質問・意見・要望等

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	(防災関係について) 公共施設の避難施設としての耐震工事が完了している施設は。	学校施設の37施設のうち、35施設が耐震工事を完了しており、第3中学校及び第1中学校の体育館の2施設を残すのみとなっ	【会場での回答で完了】

		た。	
2	(防災関係について) 熱塩加納地区での水害対策などにおける避難場所について。	前日も熱塩加納総合支所が拠点となり、この施設が中心となって対応していく。	【会場での回答で完了】
3	(防災関係について) 日中ダムについては、節水制限がある。飲料水のリスク管理について。	農業用水と飲料水があるが、飲料水については十分確保されている。	【会場での回答で完了】
4	五枚沢地区の道路は狭窄していないか。	五枚沢地区もそうだが、黒岩地区の方が狭く現在数か所で拡幅工事をしており、全体の完了に至っていないので、今後の工事予定について所管課へ確認する。	【産業建設常任委員会】 熱塩加納総合支所建設課に確認したところ、「五枚沢地区については、素掘り側溝にU型側溝と蓋を設置するなどの局部改良を平成21年度まで実施し、狭隘個所の解消を図ってきた。要望のあった箇所についてはほぼ完了したため現在事業は実施していないが、今後新たな要望個所があった場合は、実施を検討する。また、黒岩地区の拡幅工事については、県道大平・喜多方線の区間だと思われるが、県に確認したところによると現在改良事業の計画は無いとの事だが、要望があれば市を通じて県に働きかけたい。」との回答でした。今後の推移を見守ります。
5	(三ノ倉高原のひまわり畑事業について) ①管理費用は ②観光客の入込数は ③シーズン中の収益金は ④菜種油、はちみつ等の収益はどの程度か	①種を含めた管理費用 約2,000万円 ②約7.5万人 ③具体的な数字の資料は、本日はなく回答できないので、所管課へ確認する。 ④金額は回答できないので、所管課へ確認する。	【産業建設常任委員会】 熱塩加納総合支所産業課に確認したところ、「①三ノ倉高原花畑の栽培管理に係る費用は、平成28年度は執行見込額15,666千円。②観光客の入れ込み数は、菜の花が約18千人、ひまわりが約92千人であり合計約11万人となる。③シーズン中の収益金は花畑整備協力金が約93万円で、山小屋くらら内外での飲食・物販の売上高は約5,479千円である。また、④菜種油、はちみつ等の収益について、菜の花は、開花終了後に刈取り、直後にひまわりを播種するため菜種油は採取していない。はちみつについては、菜の花196瓶(180g/瓶で現在の卸値1,000円/瓶)に換算すると生産者売上約20万円となる。」との回答でした。
6	押切川公園野球場は公式戦ができない。どうして規格をクリアできなかったのか。	フィールドの公式の広さは取れているが、球場施設及び設備等の要件が公式戦に	【文教厚生常任委員会】 生涯学習課に確認したところ、「野球場の規格としては外野ま

		使用できるかどうか、所管課へ確認する。	での距離は両翼 250 フィート (76.19 メートル) 以上必要とするということで、押切川公園野球場は両翼 98 メートルであるため要件は満たしている。ただ望ましい条件として両翼 320 フィート (97.53 メートル)、センターラインは 400 フィート (121.19 メートル) 以上あることが望ましいという規定があり、センターラインは 120 メートルなので、若干望ましい規格までには至っていないという状況にあるが、過去にはプロ野球のイースタンリーグの公式戦も行われた経過もあるので規格は満たしていることは理解いただきたい。また、中学生、高校生等の会津地区における各種大会においては、あいづ球場、鶴沼球場に次ぐ、第3の会場としての位置づけになっている。」との回答でした。
7	押切川公園スポーツ広場も 6 レーンしか取れず、8 レーンがないため公認施設としての活用ができない。どうしてこのような施設になったのか。	経緯については確認していないが、詳細については所管課へ確認する。	【文教厚生常任委員会】 生涯学習課に確認したところ、「押切川公園スポーツ広場はもとソフトボールとサッカーの施設ということで計画されたが、そこに陸上トラックも併せて建設したということを確認している。陸上競技場としての公認規格は第1種から第4種まであり、その中でも第1種から第3種については1周の距離が400メートル、走路は直走路が8レーン以上で長さが114メートル以上、曲走路は6レーン以上が必要であり、さらにフィールドの材質は全天候型が必要であるとのことである。第4種については1周の距離が200メートル、250メートル、300メートル、400メートルでも4種類が該当になり、ただし走路は直走路が6レーン以上で長さ曲走路は4レーン以上が必要で、フィールドの材質は土でも可能ということで、若干の改修は必要となってくる部分はあるものの、公認の申請をすれば第4種としての公認は可能かと考えているが、陸上競技場ではなく、あくまでもスポーツ広場という考え方をしているので、公認の申請はしていないという現状である。」との回答でした。
8	喜多方は観光名所であると思うが、ラーメンを食べたら帰ってしまう。山口県萩市のように自転車で札所を回る観光をさせた	観光ルートについても滞在時間を増やすルートを作成している。自転車道の利活用についても広域的な観点から、トイレも含	【会場での回答で完了】

	ら、滞在時間が増えるのでは。	めて整備を検討している。 会津三十三観音めぐりについてもルート整備を行い、2時間以上の滞在時間ができるように目指している。	
9	雇用促進住宅の取り壊しについて。	取り壊してさら地にしていくことは聞き及んでいるが、なお、今後の予定について所管課へ確認する。	<b>【産業建設常任委員会】</b> 商工課に確認したところ、「独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（旧：雇用促進事業団）が所管する「雇用促進住宅一文字宿舎」について、平成25年11月5日に機構に対し、早期の取り壊しを要請した。現在は、機構において全国の雇用促進住宅について売却対象物件を一括して民間売却が進められており、平成28年5月31日入札公告され、9月29日から10月5日まで応札期間、10月21日開札、その後契約となり、平成29年3月31日までに引き渡しとなっている。」との回答でした。今後の推移を見守ります。
10	職員の不祥事について。	現在、刑事告訴に対しての作業が進んでいる。退職金は返還させる予定である。	<b>【会場での回答で完了】</b>
11	一般質問での重複した質問が多く、もっと調整できないか。	それぞれの会派内で調整しているが、これから十分検討していく。	<b>【会場での回答で完了】</b>
12	代表質問制度を取り入れてはどうか。	これらも検討事項になっている。	<b>【会場での回答で完了】</b>
13	議員個人の広報紙や会派紙については、なぜこの質問をしたのかや、質問した結果の市当局から得られた成果についてなど、もっと詳しく掘り下げた内容を記載してもらいたい。議会だよりと何ら変わりなければ意味がないと思う。	各会派によりさまざまな考え方で発行している。	<b>【会場での回答で完了】</b>
14	転入より転出が多い現状で、空き家対策についての施策が必要ではないか。	空き家対策事業は個人の権利（財産）の部分であるため、補助事業はあるが、あまり進んでいない状況である。 空き家は1,921棟あり、ABCDでランク付けされている。この実態を含めて倒壊の危	<b>【会場での回答で完了】</b>

		<p>険性があるものは壊す等いろいろ補助施策がある。</p> <p>山都の舟岡地区の空き家については、体験して住んでもらう事業を予定している。</p>	
--	--	---	--

## 喜多方市役所ホール棟 会場

### 総務常任委員会の報告 【公共施設マネジメントについて】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
	なし。		

### 文教厚生常任委員会の報告 【待機児童解消に向けた現状と今後の対応について】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
	なし。		

### 産業建設常任委員会の報告 【子育て世帯向け定住促進住宅の整備について】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
	なし。		

### 議員定数等に関する検討特別委員会の報告 【議員定数等に関する検討結果について】

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	<p>地域情報誌の記事で、議員報酬増とのことだが、密室の審議で決めたのか。2足の草鞋でやっぴいながら専門性が必要か。4名削減して報酬はいつから上げるのか。議員活動報告などまじめに発行している部分の政務活動費の増額は納得できる。</p>	<p>報酬については報酬等審議会に委ねるが、会議そのものは市長が招集権を有している。専門性を高めるためにも議員報酬の見直しが必要と委員会が判断した。政務活動費は会派を通じて1か月2万円支給されているが、少数会派では広報誌発行などで政務活動費が不足している実態もある。</p>	【会場での回答で完了】

2	4名削減の根拠を示せ。他市の例というばかりでは説得力がない。議論の経過説明が不足している。	他市事例、財政規模、本市の面積や人口動態など総合的に検討した。20名にすべきとの意見もあったが、最終的には現状維持、2名減員、4名減員の中で、調整するも合意形成に至らず、特別委員会では多数決で22名に決した。有識者の意見では適切な常任委員会の構成人数を最低7名とし、3常任委員会で21名+議長1名で22名との算出根拠もある。	【会場での回答で完了】
3	議員の仕事を片手間にやってほしくない。若い人に魅力あるものとして議員の仕事が受け止められるよう、しっかりと活動してくれれば報酬は下げなくて良い。	意見として伺う。	【会場での回答で完了】
4	議員報酬はもっと減らして良い。市民で年収200万円未満の人がどれだけいるかわかっているのか。住民の意識と乖離していないか。	報酬については報酬等審議会に委ねるが、会議そのものは市長が招集権を有している。専門性を高めるためにも議員報酬の見直しが必要とする多くの意見も特別委員会で出された。	【会場での回答で完了】

#### 喜多方市の将来像についての自由討論

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	人口減少は仕方ないと思っているなら情けない。全国では人口を増やしている自治体もあるではないか。	全国的な人口減少の流れはとまらない。いかに市内への定住人口を増やすための制度政策を作っていくかが問われていることから、議会としても大きな課題として政策提言に努力していく。	【会場での回答で完了】
2	工業団地造成をやめたり、また始めたり、いったいどうなっているのか。企業誘致のトップセールスはしているのか。働く場所がないから高校卒業後に市内に残ることができず、人口が減るのではないか。	企業誘致のためのトップセールスは行っている。	【会場での回答で完了】

3	雇用と子育ての基盤がしっかりしないと安心して暮らせない。出産から介護までちゃんとやってほしい。	この政策を講じれば、解決できるといった特効薬はなく、総合的な努力をしなければならない。ご意見を踏まえた中央要望など市議会議長会を通じて、国に働きかけながら、国の施策として要望するもの、市の施策として取り組むべきことなど全体的な提言をしていく。	【会場での回答で完了】
4	不足している介護関連の専門職や保育士、看護師を増やすための施策はどうなっているか。市民病院の建設も含め、商業高校跡地利用などで議会として研究した成果はどうなっているか。	市民総合病院の建設は財政力において困難で、「ほっと☆きらり」の充実を求めている。議会の政策研究会を発足させて、市民ニーズの把握研究をすすめる準備段階にある。	【会場での回答で完了】
5	議会も市も対応に時間がかかりすぎている。巨額を投下した施設整備でなくても、商業高校旧校舎など未利用施設を利用した複合施設としての利活用を図るなど、もっと柔軟な対応ができるのではないか。	対応の遅さの指摘は、意見として伺う。	【会場での回答で完了】

その他の質問・意見・要望等

No.	質問・意見・要望等	会場での回答	今後の対応
1	行政区内のアパートなどに市の配布物が配られていない。いわゆる区費を大家が払う例もあるが、いったいどのように市では取り扱っているのか。	市の配布物は行政区長の業務として、区長を通じて各世帯に配布されることになっております。個別事例については区長から総務課に相談してほしい。議会からも意見は提出する。	【総務常任委員会】 総務課に確認したところ、「行政区長に世帯数等の調査票の提出を年1回お願いし、その中で配布・回覧枚数を報告いただいております。それに基づいて配布物を届け、年度の途中に世帯数の増減があった場合、随時報告をいただき部数の調整をしております。なお、アパートについては入居者から行政区長に入居した旨の報告がなければ把握できないケースもあるようですので、入居者の方から大家さん、大家さんから行政区長さんに申し出てもらい、総務課にご連絡いただければ対応できます。」との回答でした。

2	県立病院跡地の早期の利活用を求める。	進捗状況について所管課へ確認する。	<p>【総務常任委員会】</p> <p>企画調整課に確認したところ、「庁内検討委員会を立ち上げ、利活用するかどうかも含め、検討して結論出して参りたい。」との回答でした。今後の推移を見守ります。</p>
3	おはようマルシェを中央通りで実施して、全国的に発信できるような取組にすべき。	所管課へ対応を確認する。	<p>【産業建設常任委員会】</p> <p>商工課に確認したところ、「主催者である会津喜多方商工会議所に諮ったところ、朝ラーにいらしたお客様を商店街に呼び込み、購買機会を増やすと考えた場合は大変望ましいアイディアはあるが、出店場所の確保や経費等課題が多い。しかしながら、今後出店者や来場者が増え続けた場合、現在の市役所駐車場では収容しきれなくなることも考えられるため、市としても開催場所については今後の検討課題として受け止めている。また、喜多方おはようマルシェにより喜多方の活性化を図るために、内容の充実や集客に向けての情報発信については、今後も、主催者と連携して積極的に取り組んでいきたい。」との回答でした。今後の推移を見守ります。</p>
4	熊倉町の恋人坂周辺に駐車場を整備するなど、もっと整備とPRをすべきと思う。	所管課へ対応を確認する。	<p>【産業建設常任委員会】</p> <p>観光交流課に確認したところ、「平成19年度に、県が恋人坂周辺に視点場（ビューポイント）を作りたいという方針で地元と話し合いを持ったが、若者のたまり場になってしまう、管理に責任が持てない等の意見があつてまとまらなかった経過がある。それを踏まえ、市として駐車場を整備することは難しいと判断している。しかし、地元の恋人坂の景観はすばらしいので、熊倉公民館では「愛の31文字コンクール」を平成17年度から行い（今年度で12回）地元のスポットを売り出す等の取り組みをしている。市としても観光スポットとしてのPRは積極的に行っていきたい。」との回答でした。今後の推移を見守ります。</p>